

議会だより

しょうわ

2011.4.22

No. **149**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

特集 議会改革

予算総額98億円に

一般質問 ここが聞きたい

井戸端会議（住民・議員の対話集会）

追跡

あの質問はどうなった

—西条小入学式—

4年間の軌跡



2010.7
昭和町で初の
議会活動報告会

2010.9
議会基本条例を
制定（10月1日施行）

2011.2
全国町村議会表彰を受賞
（941町村の中で優良議会に選ばれる）

2010.9
休日議会を開催

2010.11
学院大学生による
町づくり政策提言報告会

To Be Continued...

議会改革 特集

議会改革

2007.5
浅川議長を先頭に
任期をスタート



2008.2
飯喰区で初めて
試験的な井戸端会議

2008.10
議会改革推進会議を
開催（計20回）

2007.11
区長と議員の意見交換会
（この年から毎年1回開催）

2008.11
大学生による
模擬議会を開催
（全国初の試み）

2008.5
全国で初めて山梨
学院大学と提携を結ぶ

2009.3
一般質問
一問一答方式に

2009.4
政務調査費条例改正
（年12万円→6万円）



2010.1
議会広報が
全国で2位に輝く

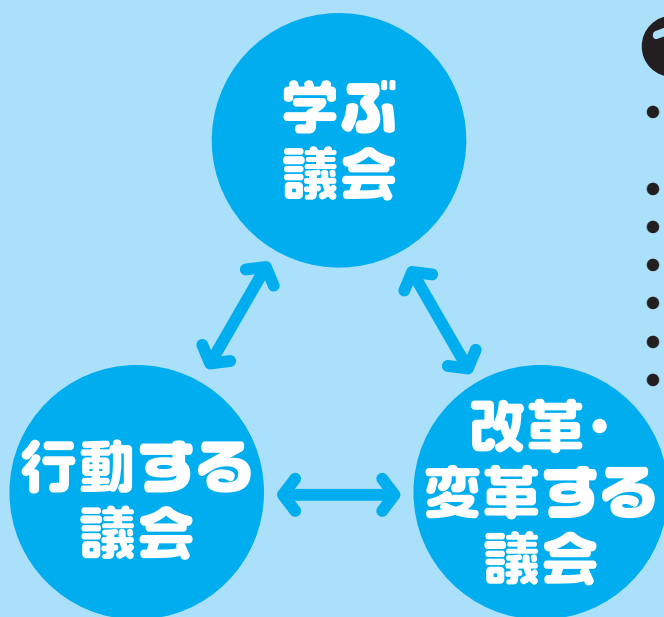
2009.5
井戸端会議を
全地区訪問スタート

2009.10
学生による町民の議会
に対する意識調査



2010.11
学生と議員の
ワークショップ

した昭和町議会



①学ぶ議会

- 山梨学院大学(ローカルガバナンス研究センター)との提携による研修会・学習会を開催
- 学生模擬議会実施による議会運営改革研修
- 学生とのワークショップ開催による共同討議
- 各委員会で研修テーマを設定し、自主研修会開催
- 全議員での先進議会視察研修会開催
- 地元企業との意見交換会および企業見学会
- 各議員の個人課題の調査研究活動の日常化

意識改革
↑↓
資質向上
↓
問題解決力の向上

②行動する議会

- 地域行事等への積極的参加・ホタル愛護活動等への参加
- 各種団体代表者懇談会の開催
- 各種団体・委員会との交流による協働活動(安協・区長会・教育委員会等)
- 井戸端会議の開催による各区の現状・課題の把握と住民の議会への要望等の把握
- あいさつ運動への参加・協力

住民活動への参加
↓
協働活動の推進

③改革・変革する議会

- 議会改革推進委員会の設立による委員会の定例開催
- 会議規則・議会申し合わせ事項の見直し
- 議会基本条例の制定
- 議員定数問題の検討協議
- 一問一答方式の導入
- 議員政務調査費半減の条例改正
- 議会広報の刷新充実・インターネットの活用

現行制度の点検・
見直し・改善
↓
具体的改善・改革

井戸端会議(意見交換会)の反映と成果

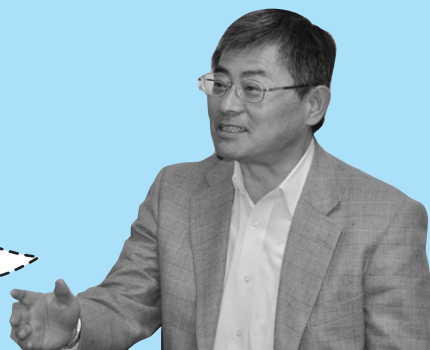
年度	参加総数	質問数	即答	検討
平成21年	470人	143	37	16
平成22年	459人	137	88	48

大きく踏み出

責任感と勇気に感服

議員といえば、地元の利益だけを考える短絡的議員か、当選したらふんぞり返るか、横暴議員か、といったイメージが一般的ではなかろうか。

昭和町議会は、議員がプライドを持って活動すべく、議会改革に大きく踏み出した。もちろん、町民からみれば当たり前の改革かもしれない。しかし、住民の前に出るのは勇気あることであり、政策提言には責任を伴う。自治を担う議会として町民の前に現れた。もちろん、議会改革が目的ではない。住民の福祉向上につながることを、これをチェックしながら、さらなるバージョンアップを期待している。



山梨学院大学教授 江藤俊昭



議会議長 浅川武男

町民とともに歩む議会を目指して

この4年間を振り返ってみますと町民に信頼される議会、開かれた議会を目指し議会改革を進めてまいりました。

学ぶ、行動する、変革・改革する議会をテーマに、山梨学院大学と提携し専門的知識の習得や学生との交流、各種団体との意見交換会、井戸端会議など、身近な議会として議論し得るだけの活動をし、昨年10月には昭和町議会の憲法ともいえる議会基本条例を制定しました。

しかし、議会改革はまだものの思いも強く、今後も引き続き改革を進めていってほしいと考えています。

子育て世代の母親に聞きました!!

あなたにとって昭和町議会は？
評価は厳しい68点

山梨学院大学政治行政学科の学生が平成22年12月に1歳半検診に参加した父母に対して実施
対象：30歳代 75% 女性96% 101人
場所：児童センター、各児童館

■ 100点満点中何点か？

議会の総合評価 68点

■ 議会を身近に感じているか？

93%の人が身近に感じていない。

■ 議員の名前と顔を知っていますか？

まだ低い認識と関心度。

まったく知らないが約半数。

78%がまったくかあまり知らない。

■ 議会への興味や関心は？

あまり持っていないが半数。

31%がある程度は関心がある。

■ 昭和町議会に満足していますか？

54%の住民は、ある程度満足。

■ 議会だよりは見ますか？

よく見ている・時々見て

いるが7割以上を占める。

■ 議会のホームページで議会の動きは見ていますか？

まったく見ていないが79%

■ 議会における住民参加をどのように推進すべきか？

情報公開制度の充実 41%

議員との意見交換会の場を充実 25%

傍聴しやすい環境づくり 18%

■ 議会に求める役割は？

地域住民の声の代弁 74%

政策事業の立案 11%

執行機関への監視機能 7%



どうなった？ 平成23年度政策提言

新年度予算編成にあたり教育厚生常任委員会が
提言したことがどうなったのか。

6つの提言に対する町長の回答

提言 中学3年生までの
医療費の無料化

子育て支援の一環として、義務教育時まで医療費無料化にして保護者の負担を軽減できないか。

回答
検討中

限られた財源の中で効率的な運用を図るために、各種行政サービスの必要性を分野ごとにテーマ（政策）を定めて町民の意向調査を行います。その結果に基づき、それぞれの担当課で必要とされる施策のあり方を再検討します。

提言 85歳以上の
医療費の無料化

回答 事業を見直して
財源の確保を

提言 小学校の
校庭芝生化

押原小学校の校庭を芝生化して評判が良いので、西条小学校・常永小学校の校庭も芝生化して教育環境の整備をしてほしい。

回答
検討中

押原小学校のグラウンドに植えた芝生の生育状態や管理状況を検証中です。先生方の維持管理（水やり）の負担が大きく、教育現場と相談する中で他の小学校にも広めるか検討します。

提言 小中学校の
暑さ対策

昨年の夏は異常な酷暑でした。授業中に34℃～35℃もある日があり、扇風機では勉強できる良好な環境ではありません。

回答
早期実現へ

すべての小中学校の校舎にエアコンを設置すべく、6月補正予算に向けて検討に入っています。

提言 昭和町地域包括支援
センターの職員を
3人体制に

高齢者の増加は進んでいます。地域の状況やきめ細やかな対応をしていくために、社会福祉士との3人体制を要望します。

回答
当面臨時職員対応
で整備

3人体制にしました。

提言 高齢者・障がい者
福祉拠点の整備

平成20年12月議会の一一般質問での町長の答弁は「押原公園完成後に検討する」と言うことでした。再度、要望します。

回答
検討中

町の財政が厳しい状況下では、新しい施設は当面は建設できません。既存の施設を利用しながら、充実していきます。



地域包括支援センター事業の介護予防運動

角野町長の施政方針(要旨)

6つの公約 重点施策に取り組む



1 子供たちの健全育成 「昭和 교육」実現へ

- ・学校現場と行政を結ぶ「教育指導主事」設置
- ・育成会、子供クラブなど青少年健全育成、文化継承、生涯学習 ボランティア活動などの推進をめざし、地域リーダーを育成

2 「地域やお店が輝くまちづくり」

- ・行政区制度改革→地域力活性化交付金の活用
- ・地区担当職員制度の推進
- ・商工会・工業会支援 民間企業に公共施設開放

3 財政健全化と職員能力向上「役場のサービスがよくなった」と言われない

- ・事務・事業の見直し、分野ごとの政策テーマ設定
- ・議会と行政による政策評価の実施
- ・職員研修の推進、人事評価と若手職員のアイデア提言

4 農業振興と環境美化 土と緑を次世代へ

- ・農業の振興・昭和町ブランドの開発
- ・不耕作地解消、受委託事業促進
- ・「昭和の日」に環境美化緑の保全事業

5 コンパクトなまちづくり

- ・高齢者・障がい者の暮らしやすいまちづくり
- ・徒歩で用が足せる安全な道路整備公共交通機関活用の周辺整備
- ・支え合い、見守りシステム、災害時の弱者救済体制整備

6 市街化調整区域の都市計画

- ・市街化調整区域内の開発許可制度を研究
- ・農用地区域除外の方針を定め、区域の振興を図る

被災地支援へ

思いを込めて

東日本大震災へ義援金

3月11日午後2時46分、東北を中心とした東日本大震災が起き、昭和町内も震度4～5の揺れを観測し、一時、職員や議員が役場の外に避難をしました。

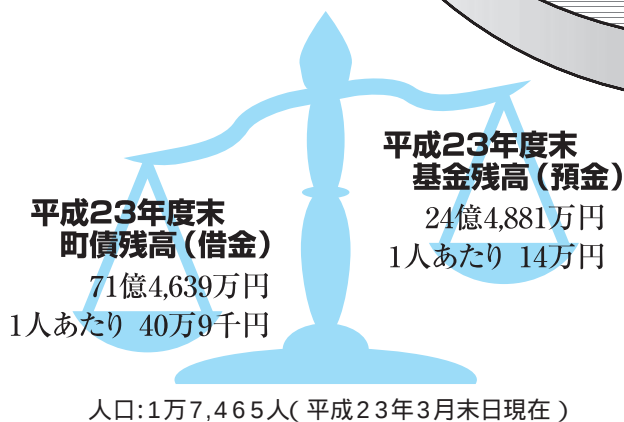
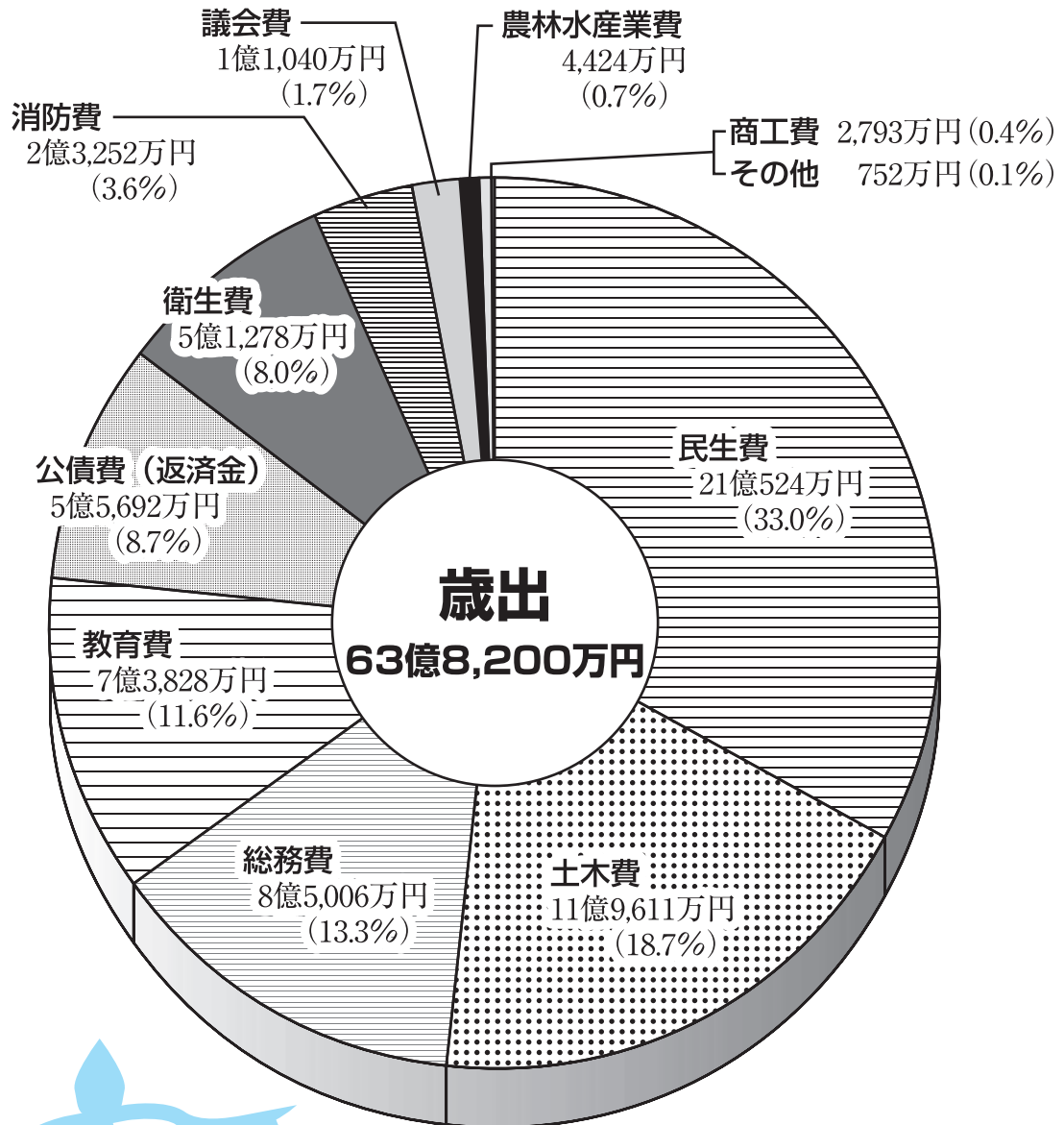
そのため11日は午後3時で会議を打ち切りました。その後の議会は節電して実施しました。

3月14日の全員協議会では岩手県・宮城県・福島県など被災地救援のため、昭和町議会として一刻も早く義援金を贈ることを決め、議員が出しあい50万円を14日に山日YBS厚生文化事業団に届けました。

がんばれ!!
東北!!



の骨格予算を可決

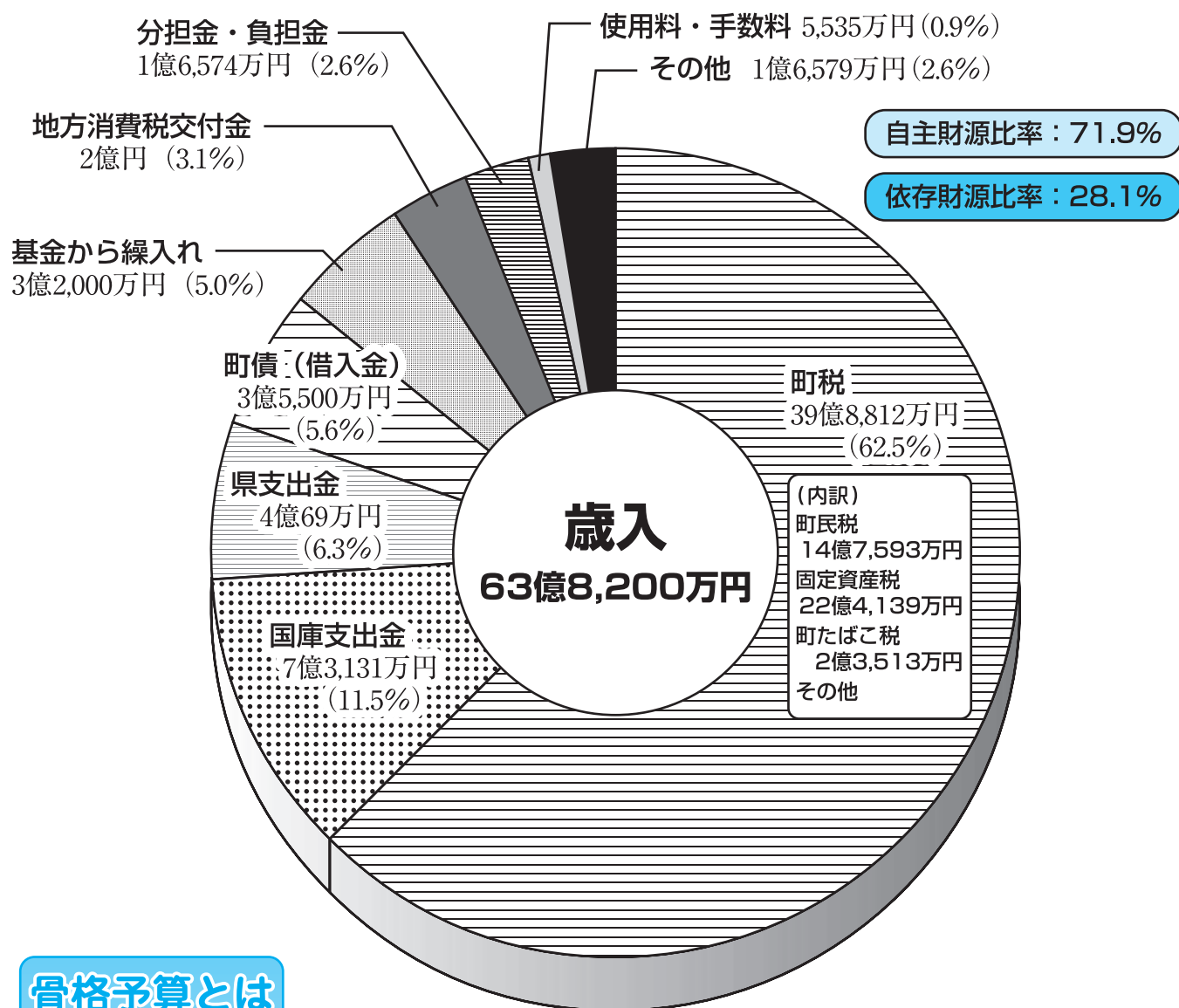


一般会計のおもな事業

- ・医療費助成 1億3,440万円
- ・総合健診・人間ドック・予防接種 .. 1億2,295万円
- ・保育所運営費 5億9,580万円

- ・子供手当費 4億7,819万円
- ・介護給付費 1億1,492万円
- ・商工業振興事業 1億9,430万円
- ・常永土地区画整理事業 3億3,300万円
- ・西条・昭和IC線街路事業 1億 505万円
- ・ゴミ収集処理費 5億7,285万円

63億8,200万円



骨格予算とは

法令上の概念はありませんが、町長や議員の改選を目前に控えている場合など、1年間の行政活動を予算計上することが困難、あるいは適当でないと判断した場合、新規の施策等を見送り、政策的経費を抑え、義務的経費を中心に編成された予算をいいます。

■ 平成23年度一般会計・特別会計予算

会計名		予算額	前年度比	可否
特別会計	一般会計	63億8,200万円	3.9%	賛成13:反対1
	国民健康保険	15億7,600万円	8.0%	全員賛成
	後期高齢者医療	1億 470万円	3.8%	全員賛成
	介護保険	6億1,695万円	3.3%	全員賛成
	介護サービス	1,426万円	16.0%	全員賛成
	下水道事業	11億 300万円	6.6%	全員賛成
	湧水対策	551万円	0.0%	全員賛成
合計		98億0,242万円	1.9%	

平成22年度一般会計補正予算

1億9,028万円 を増額

一般会計 全員賛成で可決

一般会計は、町税、国・県の支出金、地方交付税などを財源として1億9,028万円を増額し、予算の総額を74億5,983万円としました。

補正の主な事業としては、ヒブ、肺炎球菌予防ワクチン接種費の助成、上河東区公会堂建設補助金、西条小学校の遊具改修・図書館の改修費などです。なお一般会計の剰余金2億885万円を基金に積み立てました。

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険会計1億1,727万円
一般会計からの繰入金、共同事業交付金、保険税などを財源として補正増額し、医療給付費などに充てるものです。

老人保健会計 7千円
後期高齢者医療会計214万円
介護保険会計 249万円
下水道事業会計 7,884万円
湧水対策事業会計63万円

3月議会で 決まったこと

平成23年3月定例会は、3月8日から24日までの会期で開きました。町長から平成22年度一般会計補正予算および特別会計補正予算7件のほか、23年度一般会計予算ならびに特別会計7件、条例の改正5件、人事案件1件など合計21件と、請願・陳情・意見書が提出されました。

一般質問には、6人の議員が町政の課題について幅広く一般質問を展開し、町の考えを問いました。

条例の改正

・職員給与条例
人事院勧告に伴う職員の持ち家住居手当の廃止、期末手当の減額。

- ・特別会計設置条例
老人保健特別会計を廃止。
 - ・手数料条例
住基カードの再交付手数料徴収および身障者補助犬の手数料免除。
 - ・住宅設置条例
町営住宅家賃の口座引き落としを可能にするため。
 - ・都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例
市街化調整区域への下水道整備に伴う負担金を設定。
- 全員賛成で可決



町営常永団地

人事

教育委員の任命



油川 勝司さん
(河西区)

(再任) 任期4年間
全員賛成で同意

指定管理者の指定

▼押原公園

押原公園の設備、備品について平成23年4月から3年間、社団法人山梨県サッカー協会を管理者に指定。全員賛成で可決



ますます活用！押原公園

請願

・「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に反対する意見書の提出を求める請願

(提出者)

山梨保育運動連絡会会長

秋山なほみ

(紹介議員)

深澤 平助

全員賛成で議決

議会ではこの請願を審査した結果、議長名で意見書を提出することを議決しました。

(提出先)

衆参院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、少子化対策担当大臣

陳情

・市町村管理栄養士配置を求める陳情
(提出者) 栄養士関係団体
継続審査

継続事業

西条・昭和インター線街路事業とは

平成22年度の予算で、西条・昭和インター線街路事業が平成23年度に明許繰越されました。西条・昭和インター線とは中央道ボックスから県道甲府南アルプス線の間の道路のことです。

この事業は、平成16年度に一度着手しましたが、財政上の理由から継続が厳しくなり、平成17年度から一時延期となりました。その後、住民の要望書等も受け関係機関とも協議する中で検討を進め、平成21年度から再開しました。

年度別事業計画予定 (H21~H26)

平成21年度

事業認可申請、用地測量、物件補償調査

平成22~23年度

用地買収、物件補償

平成24年度

用地買収、物件補償、工事实施

平成25~26年度

工事实施

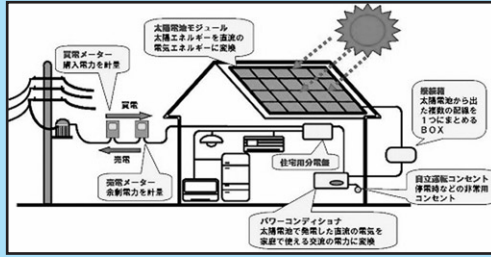


西条・昭和インター線街路事業道路

明許繰越とは

年度内に事業の支出を終わらない見込みのあるものは、議会の議決を得て、翌年度に繰り越して使用できる。

太陽光発電システム の補助金利用！



太陽光発電の仕組み

遠藤議員 区画整理が進んでいるが、申請はどのくらい増えているのか。発電量は何キロが多いか。

環境経済課長 昨年度の当初予算では20件240万円だったが、さらに18件分追加した。今年度は35件420万円の予算。平均的な個人住宅で3〜4キロワットが普通、補助金は9〜12万円。

使わない補償井戸 の今後は？

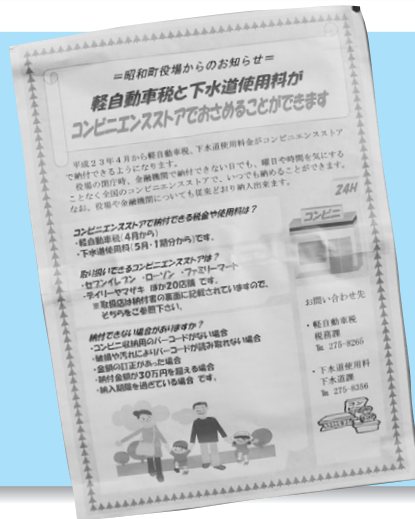
田中議員 常永の区画整理もあり、JA跡地の補償井戸はどう管理していくのか。

山田議員 停止した場所の点検はしていくのか。必要なく使えなくなるのは問題。

環境経済課長 区画整理での補償井戸は、水道局では順次止めていきたいとの意見もある。農業用水の確保の面でも、すぐには補償井戸の停止は考えていない。

また、点検は局の責任で行い、要望があれば動かすことができる。防火用水としても検討を重ねたい。

コンビニ収納の 今後は？



役場内でもコンビニ収納のPR

河住議員 コンビニ収納の委託金額が大きいが、今後どうなるのか。

税務課長 23年度は軽自動車税の収納のみだが、順調に進めば住民税と固定資産税をコンビニ収納できるシステムで予算計上している。この金額は単年度のための委託料になる。

予防接種の対応は？

樋口議員 肺炎球菌・ヒブワクチンで、死亡者が出ているが、どう対応するのか。

深澤議員 今年度予算の予防費が大幅に増額だが、事業内容と予算額は。

いきいき健康課長 全国で4〜5人が死亡。3月時点では国の指導で接種を中止。国で有識者会議が行われ、方向性を話しあっている。子宮頸がんは651人1回1万5千円、ヒブ896人1回8千円、小児肺炎球菌896人1回1万円、日本脳炎600人1回7千370円、日本脳炎9〜10歳分800人1回7千370円を予定。人数は通算。

医療費が 増えすぎている！

河住議員 22年度の国保補正で、約1億円を増額している原因は、当初に比べて差が大きい。見込みが違いすぎるのか。

三井議員 レセプト電算化はいつから。

河田議員 インフルエンザ流行の影響はないのか。

町民窓口課長 担当とも確認したが特別な要因はない。前年度と比較し1カ月で1000万円も違う月もある。年々医療費が増えている。23年度からレセプト電算化になり、細かい状況がつかめると思う。昨年もインフルエンザの影響があったと思う。季節の節目の月は特に差があり、毎月の比較でも医療費が増えている。もっと分析したい。

避難所防災備品は？

三井議員 災害対策費の避難所防災備品は、どのように使われるのか。

企画財政課長 西条小・常永小と昭和高校に、プレハブの備品庫を設置した。23年度からシート等徐々に整備をしていく。



昭和高校内の防災倉庫

学校関係の予算は？

山田議員 西条小遊具改修事業の遊具の内容は。

福島議員 一度この事業を取りやめたが、今回予算がついたのはなぜか。

野中議員 自動車借り上げの金額が大きいが。

学校教育課長 遊具は、移設が平行棒と複列シーソー、新設が大型2人乗りブランコ、丸太の平均台、既存遊具の塗装。町の財政が厳しく、移設等の金額が大きいため取りやめたが、3月末までの予算計上なら補助金制度が適用できたので計上した。自動車借り上げは中学校の部活動の移動バス代。22年の実績から判断。町のバスも利用しているが、同日開催の部活があったり、借りる場面も増え、県大会などに勝ち進むと増える。

討 論

地方分権対策
特別委員会

深澤議員から議会基本条例の中に、倫理的な関係から議員の「政党あるいは党派に属することを公表する」条文を追加することを提案。

賛成 2人

塚原議員 住民全体の代表であれば、政党を公開しても構わないのではないかと。

反対 13人

志村議員 ほとんどが無所属であるし、小さな町で政党を義務付けなくてもいい。

浅川議長 解説にも特定の地域や団体の代理人や代弁者でなく、ということもある。町全体の代表であれば関係ないと思う。倫理と政党がリンクするとは思えない。

萩原議員 あえて明記する必要はない。

施策を問う → ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 災害対策器具

登録制度の推進を

志村

平成7年に発生した阪神淡路大震災の教訓や、東海地震を想定したハザードマップ等もあり、自主防災組織に対する活動支援として、各地域の個人が保有する災害時用の機具・機材（消火器・チェーンソー・カッター・発電機・ジャッキ・テント等）を登録することで、防災意識の高揚と、訓練に参加する意識が高められ、各区自主防災組織にとっても心強い。登録制度の推進を提案する。



しむら 茂 議員



どんな防災用品をお持ちですか？



各区で防災訓練

A 自主防災会の意見 聞き、導入に努力

町長

大規模災害の未然防止と、発生時の被害軽減のため、自主防災会の果たす役割は非常に大きい。支援策として資機材の整備は、補助制度で整備促進を図り、

手引書の作成や研修会の実施など、組織力強化に取り組んでいる。また、各自主防災会では、組織の体制整備や防災訓練の実施、防災資機材の整備など、地域の実情に応じた活動に取り組んでいただいている。

今後、自主防災会の意見を聞き、登録制度導入に努力していきたい。



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員



健康体操実施中！

Q 長生きしてよかったと思える町づくりを

河住

健康づくりに意欲を燃やす高齢者のための施策が必要だ。

ニーズに対応する高齢者学級の開設を。

保健・福祉・医療連携で健康増進施設整備を。

A ニーズに沿った教室、講座を企画

町長

各地区公会堂を拠点に、ふれあいサロンや趣味・教養の講座等、高齢者向けの活動に取り組んでいる。高齢者に限らず団塊世代のニーズに沿った教室、講座を企画していきたい。

財政が厳しい状況だが、総合会館や押原公園、温水プールなど公共施設を活用し、健康づくりや体力づくり、また親睦・交流場所として地域づくりに気軽に集まって楽しんで欲しい。お一人お一人が充実した人生が送れるように、私も適切に支援していきたい。

再質問

河住

教室の講座を1本化する考えはあるか。

町長

メニューをいろいろ用意している。窓口の統一化も検討したい。

Q 不登校の現状と予防対策は

河住

本町の不登校の実態は。いじめと体罰の実態は。不登校対策、学校の指導は。

A 細やかな支援を行う

教育長

30日以上の上の長期欠席者は18人。友人関係や学業の不振、入学・転学時の不適応、家庭の生活環境の変化等、本人に関わる問題として極度の不安や緊張、無気力等など。

いじめと思われる状況が4件あり、担任等が発見したもの1件、本人からの訴えによるもの2件、保護者の訴えに

よるものが1件。教師による体罰といった事例は報告を受けていない。

不登校を引き起こした要因を早くとらえ、きめ細やかな支援を行っていくことが必要だ。全職員が情報を共有し、共通理解の下での指導を行っている。

Q 障がい者・お年寄りの負担軽減を

河住

軽減を望む。

A 文書量軽減可否を検討する

町長

医療機関では保険適用外のため、統一されていないが、平成23年度に第3次障害者計画・第3期障害者福祉計画策定の中で、文書料負担金軽減の可否を判断していきたい。

Q 介護保険、要支援サービスの継続保障を



ふかさわ へいすけ 議員
深澤 平助

深澤

2012年に介護保険が改訂される。本

町の要介護者は335人、要支援1が9人、2が35人だがこの人たちは改訂で介護給付から外される。町の考えは。

A 保険事業専門部会に提案を指示

町長

制度が始まって10年、国では持続可能な介護保険制度とするため、制度の見直しを検討しているが、理念に沿った内容に改正していただき、高齢者負担を抑え、介護サービスの充実をお願いしたい。新年度は第5期介護

保険事業計画見直し時期で、生活援助・家事援助等は、介護保険事業計画専門部会に、提案するよう指示をしていきたい。

再質問

深澤

生活支援サービス打ち切りは、大きな後退で深刻な問題だ。町で続ける考えは。

町長

町民意見が反映できるように、努力したい。



昭和フェスティバルにて高齢者疑似体験

Q 住宅リフォーム助成制度の創設を

深澤

住宅リフォーム助成制度が注目されている。地域経済活性化のために、本町でもこの施策を積極的に進める必要がある。

A 利子補給制度があり助成は難しい

町長

平成19年度から、町内小規模事業者の支援を目的に、制度資金融資を対象に利子補給制度を設けた。県内他自治体の中でも特に有利な内容で、今年度も150社余が利用を申請しているが、住宅リフォーム助成制度は、現状で実施することは難しい。



学校現場でも平和の大切さを伝える

Q 昭和町の平和推進は

保坂

昭和町議会と山梨学院大学学生とのワークショップの中で、学生が昭和町役場の前に掲げてある「核兵器廃絶平和宣言のまち」を具現化する必要性の政策提言をした。戦争を知らない若者が昭和町を思う熱いメッセージ

ジに心が動かされ、若者の政策提言を含めて、町長には町民に対して、教育長には教育課程の中で、昭和町の平和推進の現在までの経緯と、今後の方向性を問う。

A 恒久平和と非核実現に一層の努力

町長

非核宣言自治体連絡協議会の総会やシンポジウムへの参加、8月に行われる「平和の火リレー」への激励等、数々の活動を推進してきた。今後核兵器廃絶を訴え、積極的な啓発活動や非核NGO等に協力し、恒久平和と非核実現に向け、一層の努力をしていきたい。

教育長

各教科や道徳授業で、平和の大切さを教えている。町内に残る貴重な資料や、戦争体験者から、当時の生活状況を聞き取りするなどの機会を設け、



保坂 明子 議員

再質問

保坂

町民に対しての推進活動を聞きたい。

町長

町民向けには活動を推進してこなかった。これを契機に検討していきたい。

Q 再度「食育推進計画の策定」を問う

保坂

21年第3回定例会で「食育は推進計画で総合的かつ計画的に」と、推進計画を提案した。再度、町の考えを聞きたい。

A まちづくり・人づくりを視点に組み合わせ

町長

当初計画より遅れているが、健康増進計画の中で、食育推進計画を見据え、食生活の課題に対する検討がなされている。まちづくり・人づくりの視点で、食育推進計画に取り組みたい。

Q 今後の緑化推進策は

福島

植物・森林等は、地球温暖化防止や生物

多様性保全の観点から、役割に対する関心や存在の必要性が高まっている。町でも緑化推進基本計画・実施計画を策定し努力しているが、町内は開発が進み、駐車場や公園等は物足りず、木々の植栽による自然環境を取り入れることが必要だ。10年、20年先を見据え、常緑樹などを植栽し、他の町にないような緑に包まれた魅力ある昭和町を目指すべきだ。都市化された中にも自然があり、青空と緑と産業の町である本町の緑化計画をどのように進めていくのか聞きたい。



福島 正明 議員

A 町民と一体で緑化を進めたい

町長

公園等の完成から日数が浅く、今後は身近な緑地の配置を検討する段階となっているが、施設に相当な投資が必要で、核となる大規模公園は、財政状況からは当面見込めない状況だ。

現在行っている土地開発指導要綱に基づく緑地確保や、公園の緑に重点を置いた整備・指導で緑地の拡大を進め、役場敷地を含めた公共用地の空きスペースの有効活用で、緑地拡大を目指したい。

また、押原公園親水広場横に町民花壇があり、イベント開催時に花の苗・乙女椿など樹木の苗配布を行い、地区公会堂・公民館などの緑化を、町民と一体となり進めていきたい。

再質問

福島

昭和町・我が家のシンボルツリー運動や、公園の一角に記念植樹帯を設けたり、企業に緑化推進を求めるなど、町の積極的な協力体制を考えてほしい。

環境経済課長

植栽場所のない方への対応や、公園の植樹など相当な面積が必要になるが、検討していきたい。また、企業等にも協力を求め、緑あるまちづくりの推進を行いたい。



イオンモールでも植樹祭を実施

消費生活相談窓口の設置を



河田あけみ 議員

河田

消費者相談員を委嘱され、活動している

方は4人いるが、町に相談コーナーや窓口設置をする考えはあるか、聞きたい。

**A 相談状況を
考慮し判断**

町長

町では啓発用パンフレットの全戸配布や、ホームページで情報提供など、周知に努めている。消費者生活相談日の開設や、消費生活地域講座も開設している。相談窓口の設置は、近隣市と連携するなど、今後の相談状況を考慮し、判断していきたい。

**Q 弁当の日の
取り組みは**

河田

「弁当の日」とは、子どもたちが自分で作った弁当を学校で食べる日のこと。親に手伝ってもらわず、自分で弁当を作ることには「子どもの自立や成長を促し、生きる力を目覚めさせる」といわれている。

すでに昨年、常永小で県内初の取り組みが行われた。全町の学校で取り組む価値は大いだと思うが当局の考えを聞きたい。

**A 実践学校には
支援していく**

教育長

子どもたちが自ら取り組み組んだ児童会行事だが、無理のない範囲で、目標を決めて行われた。一定の効果ある教育事業と考えるが、子ども・学校・家庭が認識を持ち、体制の整えられた学校で実践していただきたい。

**Q 教科書
バリアフリー法は**

河田

パソコン画面上で本を再生したり、拡大教科書・点字教科書など、障がい者のためのデージー教科書の普及を図る考えはないか。

みんなのお弁当



**A 今後の状況を
見て判断**

教育長

町内の小・中学校4校に特別支援学級が設置しており、町独自で教育補助員を採用し、必要な教育的支援をしている。現行制度ではデージー教科書が認められていないが、今後の状況を見て判断していきたい。



県内初の弁当の日を行った常永小

地域住民と議員の対話集会

井戸端会議



次の開催予定

河東中島区
飯喰区
清水新居区

5月以降に計画しています。

町議会の役割は地域住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指していきます。

井戸端会議で出された意見・要望は、結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒に、課題解決に知恵を絞っていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

お詫びと訂正

前回148号の15ページ、上河東区の井戸端会議の中に誤りがありました。
誤 A 区画整理の中で、
正 A 区画整理ともあわせる中で、お詫びして訂正します。

西条新田区(第10回)

1月28日 西条新田区公会堂

- 出席者 西条新田区民 30人
- 参加議員 7人
- 産業土木常任委員会
野中敏美委員長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 鎌田川に砂がたまっている。

甲斐市と話し合いをして解決してほしい。可能なら県へ申し入れ、しゅんせつ工事してもらいたい。

A しゅんせつの問題は以前一般質問もされた(議会公報No146)

今川や常永川などは町が予算内でしゅんせつしている。甲斐市に河川管理状況を申し入れ協議したい。

Q 新入消防団員の確保に苦勞をしている。役場に勧誘の苦情があると聞き、ちよつと寂しい思いがする。もう少し新しい区民にも協力していただきたい。

A 地域の交流が少なくなり、どうしても昔からのお宅にお願いすることが多い。上河東区などは執行部の役員と一緒に依頼に回り、役員さんも助言してくれるようになってきている。地域でも協力態勢を強化して欲しい。

Q 予算提案に議会がどう取組むのか。高齢者を守る観点や、子どもたちの暑さ対策、環境面の配慮など必要だ。

A 教育厚生で行った予算提案は限られた税金の中での提案で、財源の問題の視点からも検討を促している。町長も教育・福祉予算を減らさずと言っている。



地域の協力を強化!

築地新居区(第11回)

2月17日 築地新居区公会堂

- 出席者 築地新居区民 37人
- 参加議員 7人
- 総務常任委員会 福島正明委員長

おもな
意見・要望と議会の対応

Q 区画整理はまだかかると聞く。築地新居の地域が取り残されている

市街化区域の見直しを!



るが、農業振興地域を見直してほしい。

A 区画整理もやつとイオンがオープンし進んできた。市街化区域の問題は「まちづくり」として、町全体を見て考えなければならず難しい。

Q 町外から押原小学校に入学したいという人がいても、周りにアパートがないため他の学区になつてしまふ。解決策はないか。

A 議会でも何回かこの問題を取り上げている。学区の見直しの一般質問もされ(議会たよりNo147)教育委員会も状況を見て検討していく問題だと思う。学区を変えることで均衡を図る考え方もある。

Q 高齢化で車を運転できなくなる人も増える。昔のように往診してくれる医者が増やそう、町でも働きかけをしてくれないか。

A まずは医師会に要望を出したらどうか。社協に登録した運転ボランティアの人が、要請がある家に町所有の福祉車両で迎えに行き、病院や買い物に送り迎えしている。社協にも相談してほしい。

上河東二区(第12回)

2月18日 上河東二区集会所

- 出席者 上河東二区民 30人
- 参加議員 5人
- 教育厚生常任委員会 保坂明子委員長

おもな
意見・要望と議会の対応

Q 町営住宅A棟西側を一部買い上げ、道路の隅切り(道路拡張)を再三お願いしているが、その後進まない。カーブミラーの移動もどうなっているのか。交通事故がおきてからでは遅い。

A 当局との話では3メートル四方の隅切り(道路拡張)を買収することで地権者の了解をもらい、補正予算で対応することだ。カーブミラーの移動は企画財政課に確認し、できるだけ早く対応する。

Q 粗大ゴミに荷札を付けることになっているが、ほとんどついていない。荷札が必要であれば徹底するべきだし、つけなくてもいいならなくしたらどうか。

A ゴミ処理など荷札の設置が守られていない実態がある。荷札をまじめにつけて出している人も、



道路整備はどうなっている?

マナーの悪い人もいる。当局と協議していく。

Q 国母の立体交差点を県道市川三郷線から右折するために、右折矢印の信号機をお願いしたい。

A 現地調査を行ったが、渋滞も考えられ、大変であると思い、担当課へ依頼した。町外であるが警察に要望すると回答を頂いている。

追跡



あの一般質問は どうなった？

議会からの要望や議員の質問に、当局がその後どのように対応し、
どうなっているのかを追跡・検証してみました。

追跡①

大地震想定した防災訓練を

(平成20年9月議会 質問者：三井 猛議員)

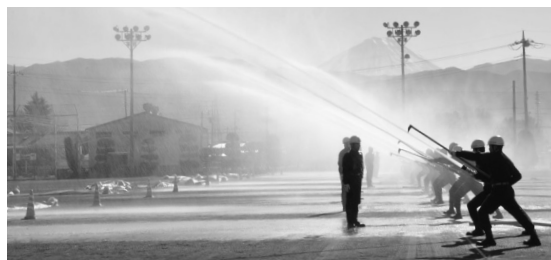
その後

問 毎年、防災訓練を各区で実施しているが、集合訓練など広域的な総合訓練が行われていない。4、5年に一度は地区自主防災組織では対応できない大規模地震を想定し、実践的な総合避難訓練を実施してはどうか。

答 実践的な総合防災訓練の必要性は認識している。防災公園を備えた押原公園が22年度に完成する予定なので、これらに対応した総合防災訓練を計画したい。

平成22年度には押原公園で防災訓練を実施できなかったが、23年度に『山梨県地震防災訓練』を実施する予定になったので、その訓練の一環として、昭和町でも町民を対象とした避難訓練等を計画している。

出初式での消防訓練



追跡②

キャリア教育推進を

(平成22年6月議会 質問者：樋口敏夫議員)

その後

問 子どもたちの成長や発達において、社会的・職業的自立が遅れる傾向から、キャリア教育が求められている。県下初のキャリア教育指定校として、本町の学校が指定を受けているが、どのようなキャリア教育を推進していくのか。

答 3年間モデル校に指定されている。以前より総合的な学習の時間や特別活動などで子どもの生きる力をはぐくむ教育が行われている。町の工業団地や商工会の企業にも依頼して、35事業所から協力もいただいている。より充実したものにするため、具体的な取り組みを県と協調し推進をはかりたい。

押原小・押原中・昭和高校の連携事業として行っている。前年度のふれあい祭りでは、キャリア教育の一環として押原小の児童がお店を出した。お店の楽しさやお客さんとの触れ合いなどを満喫することができ、学校生活では味わうことのできない貴重な体験をすることができた。また、押原小・押原中・昭和高校合同で国母駅周辺の清掃などを行っている。今後、押原公園の清掃活動も行う予定だ。



ふれあい祭りでお店が盛況

議会クイズ

議会クイズを始めました！ぜひご応募ください。

正解者の中から抽選で5人の方に
図書カードをお送りいたします。

空欄に適切な言葉を入れてください。

ヒント 議会だよりを読んでください

- 1 改革・○○する議会
- 2 一般会計予算○○億8,200万円可決
- 3 昭和町地域包括支援センター
○人体制に
- 4 キャリア教育で○○○○祭りに
児童が出店

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

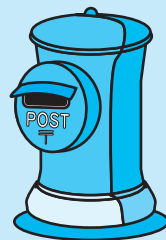
《あて先》

〒409-3880 昭和町押越542-2

昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛

《しめきり》

5月末日 消印有効



前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました！

議会だよりを読んで、市全体のことから、
生活に関わる小さなことまで様々なことを
議論していることがよくわかった。
ゴミ袋の種類はぜひ増やしてもらえよう
検討していただきたいと思う。

皆さまからいただいた議会クイズの
おハガキの中から、ピックアップして
掲載しました。ありがとうございました。

〈議会への要望・意見〉

議会だよりを見て、全国から昭和町に
視察に来ているとは驚きました。
それと、議会だよりが表彰されて
ことを知り、町民として嬉しく思います。
次回も期待しています。

議会への要望、意見

住みやすい町づくり、人口増、
防災対策に努めていただきたい。

昭和町は住みやすく、とても好きです。
これからも素敵な町づくりを宜しくお願い致します。

148号クイズの答え

政策提案 2 農産物 自治基本



議会事務局長に
河西 実氏が就任

四月一日付の人事異動により、
平成二十年四月一日から三年間、
議会事務局長として勤務された海
野豊氏が環境経済課に、後任とし
て、前学校教育課長の河西実氏が
議会事務局長に配属となりました。
今後ともよろしく願います。

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

笑顔のあいさつ



河東中島区

辻 和夫さん

甲府市内から、昭和町に来ては30年が経ちました。最初は西条一区で営業していましたが、昭和バイパスの開通に合わせて今の河東中島に移転し、郷土料理「桐原」を営んでおります。

当時は昭和バイパス沿いにはほとんど飲食店もなく、イオンモールのオープンで停滞する車の列を眺めると、隔世の感じがします。昭和町にはおいしい水があり、周りの農家の皆さまから頂く新鮮な野菜とお客さまにも恵まれ、営業してききました。

東日本大震災の被災地の映像を見るたび、震災前には何軒の飲食店があったのだろうと胸が痛みます。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りすると同時に、自分たちが恵まれていることを痛切に感じています。

最近、60歳を超えてから、健康のためにウォーキングを始めました。黙々と歩いていると、すれ違う方々に笑顔で声をかけていただきます。特に小中学生は大きな声であいさつしてくれると、元気をもらったように、つい遠回りしてしまいます。

被災地が復興したといえるのは、現地の子どもたちが笑顔であいさつできるようなった時かもしれないと思う、今日このころです。

紙漉阿原の四季折々



紙漉阿原区

今村美智子さん

阿原地区の西側を今川が流れています。地区の中心より桜の木が並び、お花見とモなれば美事な桜の花道となります。

春の桜祭りには公会堂の庭で餅つき大会、秋には天白神社で合秋祭と運動会、それぞれ天幕を張って年1回の祭りを楽しみます。今川を守る会では、年1回の史跡めぐりをします。ある時、旧家から船でお伊勢参りをした記録が出てきたことで、私たちも往年の有志たちの夢をたどってみようと、総勢30人が天白神社に参拝し、朝5時に記録にある身延道を歩きはじめ、途中南湖の公園で朝食を取り、船着場には午前10時ころ着きました。木製の舟がおりてあり、やつと往年の有志たちの夢をつなぎました。

秋には早川町の奈良田地区の物語、女帝天皇の話や奈良田の七不思議話、焼畑農業など農具や作業衣などの展示物を見学し、並々ならぬ苦勞を味わった皆さまの写真なども拝見し、何百年も続く農業をひたすら守ってきたこと、人々の絆の強さなども強く感じました。

編集ノート



平成19年4月の統一地方選挙で16人の議員が選出され、私たち6人が広報編集委員として、4年間その職にあたりました。議員は浅川議長の下、議会改革に取り組み、山梨学院大学との提携や、議会基本条例の制定、各区へ出向き住民との井戸端会議、また、区長会とも座談会を開催し、活発な議員活動を掲載することができました。

広報編集は、従来からの恒例を打破すべく、毎回工夫を凝らしながら、町民が興味を持てるような紙面構成に心血を注ぎ、その甲斐あって141号は全国2位の優秀賞を、148号は8位の栄冠に輝いたことは、私も議会の誇りであります。

議会だよりを通じ、町民に議会活動を理解していただき、昭和町の発展に少しでも貢献できたことは、この上ない喜びです。長い間のご愛読を感謝申し上げます。今後ともよろしく願っています。

○広報編集委員会

(萩原 馨・記)

委員長
副委員長
委員河田あけみ
河住 保茂
萩原 馨
野中 敏美
保坂 明子

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

6月8日(火)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

(河西・佐藤)